

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

## 東日本吹き矢倶楽部（愛称：健康吹き矢の会）

市町村	郡山市、須賀川市	会員数	63名
連絡先	024-90502 -82200(代表宅)	年齢構成	55歳～88歳
活動内容	吹き矢	活動場所	(岩瀬公民館) 第2・4火曜日 午後1時～4時 (須賀川市大東公民館) 第2・4木曜日 午後1時半～4時半 (大槻ふれあいセンター) 第1・2・4金曜日 午後1時半～4時 (富久山公民館) 第1・2・3火曜日 午前9時半～11時半
代表者	小野寺哲也	会費	各教室により異なる

### 〈老若男女、気軽に楽しめるスポーツの良さを広めていきたい〉

本会は平成17年に発足し、現在では4教室で活動されている。発足当時は全国組織に入会していたものの、健康吹き矢は誰でもいつでも・どこでも手軽に楽しめるのが魅力のスポーツであるため、会員みんなが健康で楽しく費用を抑えて楽しめるよう、現在では「東日本吹き矢倶楽部」として独立して活動を行っている。

### 〈基本動作を大切に〉

誰でも楽しめるスポーツであるが、基本動作は礼に始まり礼に終わる武道に起因する。基本動作がなければ矢は的まで届かず、しかし動作をしっかりと行えば思った以上に矢は届く。的に当たる爽快感や一連の流れの中で無心になれるのが魅力であると、代表は話される。また、吹き矢を通じた新しい世界で仲間たちとの交流も大事な部分であり、各教室において親睦会や旅行なども実施されているとのこと。入会については随時募集中、代表まで連絡を。



本会の創始者である村上信さん（左）と現在の代表である小野寺哲也さん（右）が運営にあたる。



性別や年齢を問わずに楽しめるのが魅力である。



6m離れた場所からの的を狙う。想像以上に矢は飛ぶ。

## 辻本流紀扇会（つじもとりゅうきせんかい）

市町村	本宮市	会員数	10名
連絡先	0243-1333 -12490(代表宅)	年齢構成	67歳～82歳
活動内容	日本舞踊（新舞踊）	活動場所	本宮市中央公民館 毎週火・木曜日 午前9時～12時頃
代表者	辻本紀扇（つじもときせん）	会費	応相談

### 〈家元（代表）の熱い思いと共に〉

平成12年に家元（代表）が定年退職後、踊りと共に生きてきた人生をその後どう生かしていこうかと考えた末に結成されたのが本会である。週2回、3時間の練習中の家元による指導は非常に厳しい。しかし、会員の皆さんは口を揃えて「踊りが素晴らしい、先生の人柄があるからこそ」と話される。また、練習が終われば家元・会員の境界はなく楽しい雰囲気となり、ここが「辻本流紀扇会」の良さとして話されていたのが印象的である。

### 〈新舞踊を通して届けたつじもと今いるメンバーでじゅくじゅくと新〉



家元（代表）の辻本紀扇さん。若い頃は女優として活躍し、地元に戻り公務員となられたが踊りはずっと続けられてきた。



週2回の踊りの練習が、日々の生きがいとなっていると話される。



家元が振り付けを全て創作し、取材時は市川由紀乃『はぐれ花』に併せて踊られていた。

舞踊をやっていたいとの思いから新しい会員の入会は基本受けてはいないが、施設等訪問のボランティア活動については依頼があれば出来る限り応じている。それは、戦後の苦勞をされた方々に「踊り」を通して感謝の気持ちを伝えていきたいという思いからである。自分たちの生きがいである「踊り」を披露し、それを喜んでもらえることは本当に嬉しい事であり、今後も会員の身体の許す限り続けていきたいとのことであった。問合せについては、代表まで。

# 元気な町内会の活動報告 (高齢者支え合いコミュニティ支援事業)

福島県では平成28年度から、元気な高齢者が身近な地域で社会活動に参加するきっかけをつくり、健康でいきいきと生活している町内会の取組を支援しています。本年度の支援団体のうちから、いくつかの町内会をご紹介します。

## 五月町親和会

### 〈五月町親和会について〉

JR福島駅前に位置し、発足から70年以上経過している町内会であり、現在の加入世帯は188世帯。町内会圏域が広くない分、会員同士の結束も強い。各種総会、防災訓練、商店街夏祭り、稲荷神社例大祭などを年間通して行っている。昔ながらの寺町でどこに誰がいるかは知り得た仲ではあるが、長く会の存続に努めていくため町内会未加入の人達にも多く声を掛けていきたい。

### 〈いきいきももりん体操をとおして〉

高齢化率も高くなった本会において、以前よりサロン活動等を行う前に簡単な体操を参加者で行っていた。この体操の評判が良かったため、体操に特化してやってみようと「いきいきももりん体操（福島市が介護予防のための体操を選びすぐってまとめたもの）」のDVDを流し、約40分間参加者それぞれで体操を行い、終了後はそのまま解散するスタイルをとった。各人の都合で自主的に行うため、盆・正月休みもない。自主的なスタイルがかえって交流が深まるいい機会となっている。

市町村	福島市		
連絡先	024-522-0922		
町内会費	一世帯 7,200円 (600円×12か月)		
代表	会長 斎藤高紀		
加入世帯数	188世帯	所属人数	514名



毎週水曜日、午前10時からDVDを見ながら皆で体操を行う。終了後はそのまま解散。



(左)民生委員の小松伸子(こまつのぶこ)さんと(右)事務担当の佐藤香邦(さとうよく)さんにお話を伺った。

## 中央町会

### 〈中央町会について〉

福島市の西部に位置し、平成元年に591世帯の町会として発足された。現在では会員数が市内最大規模の町内会である。各事業部（総務部、生活安全部、環境部、文化部、体育部）に分かれ、通常総会、登校児童の見守り活動、盆踊り大会、ソフトボール大会などを行う。平成30年に発足30周年を迎え、今後さらにより多くの会員に町会としての活動を知ってもらい、更なる相互連携を深めていくこと、また、町内の安全は町民の力で守っていくことをメインに考えている。



毎月役員21名が集まり、話し合いを行う。

### 〈住みたいまちNo.1の中央町を目指して〉

相互連携を深めるため、今年度は町内会広報紙（ふれあい）を4回発行予定。誌面に活動内容や町内パトロールの結果なども載せ、独自の広報紙を通してより身近に町内会を知ってもらい「住みたいまちNo.1の中央町を目指していきたい」という思いがある。本広報紙を未加入の町民にも配るなどして、新しい会員の加入にも努めていきたいとのことであった。

市町村	福島市		
連絡先	024-536-4682		
町内会費	一世帯 3,000円		
代表	会長 安達正紀		
加入世帯数	1,660世帯	所属人数	5,000名



町内会広報誌(ふれあい)。回覧版とともに町民に配布。



上記のようなチラシを未加入の町民へ投げ込みをし、新規加入にも努めている。